



今年は 山白谷 へ とて きいいで その香りを馨わく
 右馬允と包んでくれています。友子母の 仕えたお姑様の飾り
 様の 東京の病院で 闘病中の 我が息子 (長男の文治一 友子
 母の相対者であり 正介の父親) に宛てて (ために) 和歌
 を懐かしく 想い出し 短冊に書いて下さいましたので
 紹介したいと思っております。

暑中
 御見舞
 申上奉
 右馬允
 白丸

涼風
 に
 ゆくは香
 けせり
 送るは
 暑中
 君に
 空を
 孝子

信州の夏は こんなに 暑く なったはず。キラキラと
 照る太陽の日射しは 過去に体験したことのない
 暑です。伊那谷 昨日は 38℃ を記録したと噂。
 オリニヒンクで ヒートアップするみんなの 気持ちに寄り
 添うかの如しです。しかしお陽様は沈めば 涼風が
 流れ 昼間の暑さは嘘のよう。丸い美しい月と群が
 る雲。 月に 叢雲、花に 風、 信州の
 夜は とて 良いです。

四月から始まった うどん屋で 日々 違わぬ ここに来て
 ようやく 味噌の 紅込みを 終えました。大豆 13kg
 粕(米の) 15kg、 塩 3kg。 家族みんなに 紅込んだお味噌
 美味しい お味噌の 出来ごり ますように。

正介 お陰様にて 体調は回復。只今リハビリ中。